



16 平和と公正をすべての人に 戦没者をしのび 恒久平和への誓いを新たに 小野町戦没者追悼式

町主催、小野町遺族会共催による令和3年度小野町戦没者追悼式が9月28日、多目的研修集会施設で行われました。

式典は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、戦没者の遺族のほか、議会、行政区、民生・児童委員の各代表者のみの参列とし、例年より規模を大幅に縮小して挙行されました。

式典では、参列者全員で国歌を黙唱し黙とうを行った後、町長が「戦没者の方々の尊い犠牲に支えられ、築き上げてきた繁栄を次の世代に継承しつつ、命の尊さや平和の尊さを永遠に語り継いでいくことが私どもの重要な責務であります。町をあげて戦没者の方々のご冥福を祈り、町民の皆さんとともに恒久平和への誓いを新たにします」と式辞を述べました。

続いて、来賓を代表して、田村弘文町議会議長、石戸浩町遺族会会長が追悼のこトバを述べ、参列者一人ひとりが戦没者をしのび献花をして恒久平和を祈りました。



13 気候変動に具体的な対策を 自然災害への備えを 令和3年度小野町防災研修

多発する自然災害へ備えるため、自主防災会長(行政区長)を中心とした令和3年度小野町防災研修が9月5日、勤労青少年ホーム小ホールで行われました。

この研修は、例年9月上旬に行われている小野町総合防災訓練が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことから、その代替りとして行われたものです。

福島地方気象台の協力のもと、最新の防災気象情報を学び、より迅速な住民の避難につなげるなど、町の防災力向上を目指しました。

この研修で活用した資料は、町公式ウェブサイト (<https://www.town.ono.fukushima.jp/soshiki/5/onomachi-bousai-sonae.html>) に掲載しています。災害発生の予測やテレビ・インターネットなどで流れる警戒レベルに対してどのような備えをすればよいかなど、さまざまな防災気象情報について掲載していますので、ぜひご覧ください。



11 住み続けられるまちづくりを 定住を支援 小野町定住祝金贈呈式

新たに新築住宅を取得した佐藤勝矢さん(大八)に対する定住祝金の贈呈式が9月6日、町長室で行われました。

佐藤さんには町への定住支援として小町さくら商品券が贈呈されました。

町では今後も町内への定住支援を積極的に行ってまいります。



エスディー・ジーズ もっと身近に！SDGs

令和2年11月号から10カ月にわたり特集してきたSDGs(持続可能な開発目標)。皆さんにより分かりやすく、もっと身近に感じていただくため、今月号からの事業や話題などの記事の見出しに関連するSDGsのアイコンを表示しています。